

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公開番号】特開2015-29105(P2015-29105A)

【公開日】平成27年2月12日(2015.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2015-009

【出願番号】特願2014-164252(P2014-164252)

【国際特許分類】

H 01 L 21/02 (2006.01)

C 09 J 201/00 (2006.01)

C 09 J 7/02 (2006.01)

H 01 L 21/683 (2006.01)

C 09 J 11/00 (2006.01)

C 09 J 5/00 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/02 C

C 09 J 201/00

C 09 J 7/02 Z

H 01 L 21/68 N

C 09 J 11/00

C 09 J 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月18日(2016.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光照射又は加熱により架橋、硬化する硬化型接着剤成分を含有する接着剤組成物を介してウエハを支持板に固定する支持板固定工程と、

前記接着剤組成物に光を照射又は加熱して硬化型接着剤成分を架橋、硬化する接着剤硬化工程と、

前記支持板に固定されたウエハの表面に薬液処理、加熱処理又は発熱を伴う処理を施すウエハ処理工程と、

前記処理後のウエハから支持板を剥離する支持板剥離工程とを有し、

接着剤硬化工程後の接着剤組成物について、動的粘弾性測定のせん断モードで -50 から 300 まで連続昇温の条件で測定した 25 での貯蔵せん断弾性率が 2.0×10^5 $\sim 10^8$ Pa である

ことを特徴とするウエハの処理方法。

【請求項2】

接着剤組成物が刺激により気体を発生する気体発生剤を含有するものであって、支持板剥離工程において処理後のウエハに刺激を与えて前記気体発生剤から気体を発生させることによりウエハから支持板を剥離することを特徴とする請求項1記載のウエハの処理方法。